

令和4年（2022年）1月7日
 企画振興部 総合政策課 学びと自治の県づくり推進担当
 （課長）高橋 寿明 （担当）赤池 誠治
 電話 026-235-7014（直通）
 026-232-0111（代表） 内線 3718
 F A X 026-235-7471
 E-mail keikaku@pref.nagano.lg.jp



長野県（企画振興部）プレスリリース 令和4年（2022年）1月7日

コロナ後の未来を語り合う「信州これから会議」。
テーマ横断的に語り合う「第2段階」へ！

一人ひとりのコロナ後の見通しを持ち寄り、未来をともに語り合うことを通して、信州のこれからを創造・共有する、「信州これから会議」。その第1段階として、昨年11月から12月にかけて、様々な視点を持った方々がコミュニティを越えて集まり、6つのテーマに分かれて、コロナ後の信州の未来を熱く、前向きに語り合ってきました。

そしていよいよ、1月16日（日）からテーマを混ぜ合わせて語り合う「第2段階」に移ります。展開された議論は未来像「信州のこれから」（仮称）としてとりまとめ、県の新たな総合5か年計画の策定等に役立てます。

1. 第2段階 開催日程

回	開催日	時間	開催方法
第1回	1/16（日）	午前10時～正午	オンラインにより開催
第2回	1/30（日）		
第3回	2/13（日）		

※第1回には阿部守一知事が参加します。

2. 第1段階の概要

- ・ 第1段階の概要は別紙のとおり
- ・ 会議の様子は、記事配信サイト「note」で発信中。ぜひフォローをお願いします。

https://note.com/shinshu_korekara



3. その他

- ・ 取材を希望される報道機関におかれましては、1月14日（金）正午までに下記までご連絡ください。当日の取材方法についてご案内いたします。
- ・ 参加者の募集は終了しております。あらかじめご了承ください。



信州これから会議 第1段階 実施概要

- 11月上旬から12月中旬にかけ、下記の6つのテーマについてのコロナ後の未来を語り合うワークショップを、オンラインで全3回実施
- クリエイター、教育関係者、医療・福祉関係者、行政職員、エンジニア、地域おこし協力隊員、学生等、55名が集まり、それぞれのテーマの「これから」を議論
- 第1回 「コロナ下における変化をどう見ているか？」
第2回 「変化をプラスにするために何が必要か？」
第3回 とりまとめ
の順に進行



各テーマで議論された主な内容

働き方・暮らし方のこれから

- 時間や場所にとらわれない働き方・暮らし方が普及
- 人それぞれが本質的な幸せを追求する社会へ
- 働き方・暮らし方の「実践」をそれぞれが発信し、多様なチャレンジを信州から示す

文化・スポーツのこれから

- 不要不急とされたが、生活の豊かさを彩る大切なもの
- オンラインでは代替できない実物の価値が際立ち、地域資源を活かした取り組みが活発になった
- 文化・スポーツに触れる「タッチポイント」を増やしていく

地域コミュニティのこれから

- 前例踏襲でやってきた地域活動の意味を見直す機会に
- 慣例的な集まりがなくなり楽になる一方、そうした場が深い人付き合いを生んでいたことに気づいた
- 交流を生む装置と人を地域にあふれさせる

福祉・子育てのこれから

- もともとあった「社会的孤立」が顕在化し、コミュニティの分断も加速
- つながり方の選択肢を増やし、誰でもいつでも社会参加できる仕組みを考える

産業のこれから

- 大量生産、大量消費が通用しづらくなっている
- 一人ひとりのニーズに合わせたサービスの提供が必要
- 一時的な動きだけでなく「その先」を見通すチカラを養う

学びのこれから

- オンラインの進展により学びの選択肢が大きく広がった一方、リアルな価値も再認識
- 教えると教わるが入れ替わり、コミュニティを横断する「学び合う」社会の構築へ

※ 現在、上記をもとに第1段階のとりまとめを行っています。